



三学期が始まりました。始業式では、4月には一つ大きい組になること、新しくできる義務教育学校へ入学することを伝えました。「やったー」と喜ぶ3・4歳児、うれしそうな様子の幼児と不安そうな、心配そうな表情の幼児に分かれた5歳児が印象的でした。楽しい気持ちと少し不安な気持ち、どちらの気持ちも受け止めながら一緒に生活をしていきたいと思えます。したいこと、できるようになりたいことを見つけて、繰り返し取り組む気持ちを育て、友達を励ましたりコツを教え合ったりできたときに一緒に喜んだりする友達関係を支えていきたいと思えます。

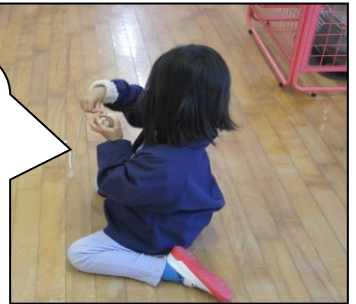
【1月のしょうわっこの様子は】



【竹馬】支えのあるものがないものがあります。バランスを取りながら自分の力で、また、教師に「手伝って」と頼んで支えてもらいながら目標の場所まで進もうとしています。



【こま】3歳児は手回しこま、4歳児は糸引きこま、5歳児は投げこまを持っています。自分のこまが回るようになると大きい組のこまに取り組んでいます。5歳児は、根気強く自分でひもをこまに巻き付けています。5回回るとチャンピオンになれます。



【ボール投げ】「肩のところから投げると速いボールになる」と小学生に教えてもらい練習しています。



【巧技台】遊戯室にははしご、一本橋等を組み合わせてコースを作っています。はしごは、水平、登る、くだると難易度を変え、一本橋も平らな面と丸い面を変えています。子どもたちから「難しいコースにして」という声が出ます。3歳児の様子を見て自分から手をつないで渡らせる4・5歳児の姿も見られます。



【ホッピング】バランスを取って跳ぶだけですが難しい…。業間休みに遊びに来た小学生が100回跳んで見せてくれます。毎日1つ2つしか増えませんが、毎日繰り返し挑戦しています。

きりとりせん

読まれた感想・ご意見などありましたら教えてください。園長だより7 ()組 園児名 ()